

平成27年度 公共事業事後評価

くろまたさわおくさわ

黒俣沢奥沢

通常砂防事業

(掛川市 黒俣 地先)

交通基盤部 河川砂防局 砂防課

黒俣沢奥沢の位置



保全対象



事業概要

溪流名：黒俣沢奥沢
 箇所：掛川市 黒俣_{地先}
 事業期間：平成16～22年度
 事業費：513百万円
 事業量：
 砂防堰堤工 1基（不透過型）
 高さ13.5m 堤長71.7m
 堤体立積 5,814m³



堰堤工（不透過型）下流正面より



堰堤工上流部荒廃状況

費用対効果の算出

基準年:当初平成16年、最終平成27年

総便益(B)

☆総便益 当初7.62億円 → 最終10.23億円

□直接被害

- ・家屋被害 9戸
- ・道路被害 677m
- ・橋梁被害 2橋

□間接被害

- ・家計における応急対策費
- ・人身被害(精神的損害)

<増加理由>

費用便益分析マニュアルの改訂により、人的被害の算定方式や単価が大幅に変更され、精神的損害額の考え方が明記されたため

総費用(C)

☆総費用 当初2.43億円 → 最終4.46億円

- ・建設費
- ・維持管理費

<増加理由>

堰堤施工箇所の両岸に地すべりの懸念があり、法枠工やアンカー工など斜面对策工の追加や本堤形状の見直しが必要となったため

費用対効果

B/C : 2.29 (当初:3.14)

事業効果の発現状況

平成23年富士宮市で発生した土石流

白水沢



平成25年西伊豆町で発生した土石流

ライヤ川:土石流発生前

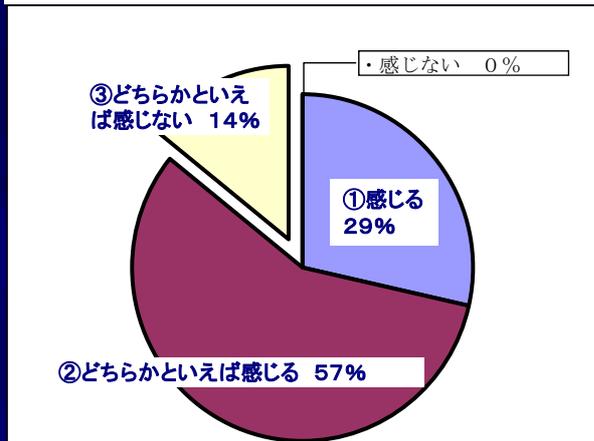


【効果発現】

黒俣沢奥沢においても堰堤設置により事業効果が期待できる。

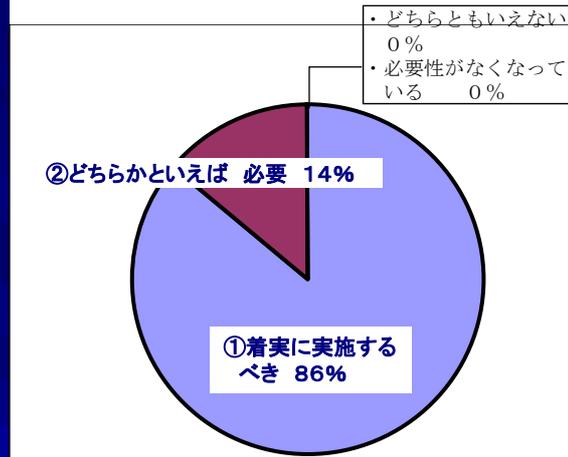
事業効果の発現状況

①掛川市は、土砂災害が発生しやすい方だと感じますか？



86%が掛川市は土砂災害が発生しやすいと感じている

②静岡県の土石流対策は？



すべての住民が土石流対策は必要と考えている。

・平成27年3月調査
・被害想定区域内に住む住民7世帯を対象に実施
うち有効回答数7世帯

事業効果の発現状況

泉地区 区長に電話にて聞き取り (平成27年5月)

1 「黒俣沢奥沢」砂防えん堤の評価

被害想定区域内にある泉公民館は地震や何かあった時には、集まる拠点であり、砂防えん堤が完成して安全になった。

2 泉地区内の土砂災害対策の必要性、あり方

泉地区としては、危険箇所がいろいろあり、まだ対策の必要性はある。

- 事業実施可能な箇所は、着実な執行に努める。
- 警戒避難体制整備などソフト対策を進める。

事業実施による環境の変化



袖部施工直後



植生が繁茂
している



現在

事業を巡る社会経済情勢等の変化



民生の安定化
地域の土砂災害に対する
安全度が向上



今後の課題と対応方針

事業効果は十分に発現されており、改善措置の必要はない

人的被害をなくすためには、

砂防堰堤の設置(ハード対策)

地域と連携した
ソフト対策の推進

- ・土砂災害警戒区域における警戒避難体制作り
- ・防災意識の向上

適切な維持管理

- ・異常気象後のパトロール

避難体制



土砂災害防災訓練



防災意識の向上

パトロール

